

ヴェーダ

V E D A (ヴェーダとは
サンスクリット語で
“癒し”を意味します。)

地域の皆さん向けの広報誌

基本理念

わたしたちは地域の中核病院として皆さんの健康を守るために、質の高い医療を提供し共に歩みます。

基本方針

- ・患者さんの人権と権利の尊重
- ・がん医療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進
- ・地域の医療機関、保健福祉施設との連携強化
- ・職員の働きやすい職場づくり

2013年度に寄せて

国民健康保険 小松市民病院
院長 川浦 幸光



小松市民病院の重点診療について概説いたします。

がん医療では今までと同様、手術、放射線治療、化学療法、緩和ケアの一貫した治療やケアを提供いたします。

通院しながら化学療法を受ける患者さんが年々増加し、今までの化学療法室では狭くなってまいりました。24年10月まで使用していた救急外来を改装後、外来化学療法室をここへ移動いたします。

さて、東玄関横にあった救急外来が2012年11月1日をもって、南加賀救急医療センターとして西玄関横に新築移転いたしました。当センターのオープンに合わせて最新の血管造影診断治療装置やマルチスライスCT断層診断装置が設置されました。これらの機器が高性能の診断能力を有し、かつ、検査や治療時間の短縮、患者さんの負担軽減などの利点を有するため、すでにフル活動しています。

当センター開設以来、救急車による救急搬入および重症疾患患者の搬入が増加しています。重症疾患以外の救急患者の受け入れについて、地域の救急病院と機能分担の話し合いが行われております。

生活習慣病、小児医療、合併症を持った妊婦の分娩、急性期の精神医療にも当院が中心的役割を果たしております。

以上のように当院が南加賀の中核として機能を発揮できるのも、診療所や訪問看護ステーション、介護福祉施設との連携の贈物であり、関係機関の方々に感謝しております。今まで培ってきた地域との連携を一層強固なものにしたいと思います。

ところで、『働きやすい職場環境を作る』ことが小松市民病院の基本方針の一つです。病院を支えるのは人であり、人材の育成が、仕事に誇りと自信をもってよりよい診療やケアを提供する上で、不可欠です。

今後も市民の皆さんに安心と信頼の医療を提供すると同時に、職員に温かい病院づくりを推進したいと思います。

広報誌『ヴェーダ』を通して皆さんに小松市民病院の医療を発信していく所存です。

児童思春期外来 開設のお知らせ

南加賀地区では今まで精神科の専門外来として児童思春期を対象とした外来がありませんでした。今年1月より月曜午後1時から4時まで予約制で始めましたのでよろしくお願い致します。

平成24年度の文部科学省の検討では小学校中学校の先生へのアンケートにて、学習の著しい問題が4.5%、不注意や多動性—衝動性の行動の著しい問題が3.1%、対人関係やこだわりなどの著しい問題が1.1%存在すると発表されています。発達障害が疑われる方には詳細な問診や検査による診断の後、学校側と連携した療育相談、ケースによっては処方を行っています。

また北海道大学の児童精神科の傳田先生の調査によれば、小学校4年生から中学1年生の生徒の1.5%にうつ病があり、学年が上がるにつれ増加すると報告されています。自傷行為、意欲の低下、気分の波、睡眠リズムの乱れなど気分障害が疑われる場合は、睡眠衛生の指導をしつつ、必要最小限の処方も行っています。

そのほか睡眠リズム障害、強迫性障害、摂食障害など思春期に認められる病気について、ときに栄養指導、臨床心理士とも協力しつつ治療を行っています。



以下のような問題があれば、ご相談に来てください

- 意欲がなく学校に行けない。
- 頭痛や腹痛を訴えるが、病院では異常ないと言われる。
- 朝起きれない。
- 学校生活をうまくやっけていけない。
- 食事をとらなくなった。
- 手洗いを何度もしたり、鍵を何度も確認する。
- 様子がおかしい。



認定看護師を紹介します

認定看護師は、日本看護協会である特定の分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた看護師をいい、水準の高い看護実践を通して、看護師に対する指導・相談活動を行っています。

小松市民病院では現在5名の認定看護師が活躍しています。院内では看護外来や患者さん向けの教室で患者指導や相談にあたっています。また地域での医療機関の研修会の講師や相談も行っています。そのような認定看護師の活動を紹介します。

感染管理認定看護師

米多 弘子
2010年6月20日取得



院内活動

ICT(感染制御チーム)として病院内全体の環境ラウンド、感染防止対策の確認、薬剤耐性菌の監視、院内感染(医療関連感染)防止対策などを行っています。また、看護師や院内の職員全体に対し、手洗いなど感染防止対策についての研修会を行っています。感染対策に関する相談も受けています。

院外活動

石川県や県看護協会などの感染防止に関する研修会を県内の感染管理認定看護師とともに行っています。また、ご依頼をいただいた当院周辺の医療・福祉施設で研修会を実施したり、感染防止に対する相談も受けています。

今後の抱負

近年、高度医療の発展や高齢化社会のため、感染防止対策を行うことは医療や介護の場でとても重要なこととなっています。そんな中で働くスタッフは日々感染防止に対する疑問をたくさん持っているのではないかと思います。当院のスタッフはもちろん、周辺の医療・福祉施設のスタッフの方々とも一緒に最善の感染防止策を考えていきたいと思っています。

患者さんへのメッセージ

今年はノロウイルスによる胃腸炎やインフルエンザが例年以上に流行しました。感染防止の基本は手洗いとマスクです。咳などの呼吸器症状がある方は咳エチケットとしてマスクを着用し、外出後や食事前、排泄後などには手洗いを行うことが重要です。感染防止に関しての相談やご意見がありましたらお気軽にお聞かせください。

認定看護師紹介

透析看護認定看護師

向出 美穂
2012年6月24日取得



院内活動

慢性腎臓病(CKD)患者様や透析患者様のお役に立てるよう活動しています。慢性腎臓病とはタンパク尿等の尿の異常などが3カ月以上続いたり、GFR(糸球体ろ過量)60ml/分未満が3カ月以上続いたりするなど、腎臓の機能が低下している状態です。放置すればやがて透析や腎移植が必要となったり、心筋梗塞や脳梗塞等になったりする危険性が増加します。しかし、いづれも生活改善等で進行や発症を抑えることができることから、慢性腎臓病教室を開催して、生活改善の方法などをお伝えしています。また、透析が必要と医師より宣告された患者様に対して、血液透析・腹膜透析・腎移植の説明をさせて頂き、患者様が自分の意思で治療法を選択できるよう支援させて頂いています。そして、透析を導入された患者様に対しては、安全で苦痛の少ない透析を提供できるよう努めています。さらに、食事管理等自己管理のサポートや近年、介護を必要とされる患者様が增加していることから、医師だけでなく訪問看護師やケアマネージャー等と連携して、患者様の療養生活を支援させて頂いています。

今後の抱負

「腎臓が悪いと言われたけど、どうしたらいいの?」「透析が必要って言われたけど、透析ってどんな治療なの?」「透析中に血圧が下がってつらいけど、どうしたらいいの?」等、不安や疑問を抱えている患者様の『かけこみ寺』のような存在になりたいと思っています。気軽に声をかけて頂ければ幸いです。

糖尿病看護認定看護師

山本 恵美子
2010年6月取得



院内活動

外来にて糖尿病療養指導を実践し、新人教育やスタッフ教育を行うとともに、コンサルテーションにも努めています。また、糖尿病委員会及び糖尿病療養指導士会にて活動をしています。

院外活動

看護研修学校をはじめ看護師やコメディカルへの研修会などの講師や、糖尿病患者及び一般市民向けへの活動を行っています。

今後の抱負

糖尿病は慢性疾患であり、患者さんの生涯糖尿病とともにある人生に寄り添い、一緒に考えながら、療養生活をよりその人らしく過ごせるよう支援していきたくと思っています。今後も、外来糖尿病療養指導において患者さんの思いに耳を傾けることはもちろん、通院中の糖尿病患者のみならず、市民の糖尿病への意識を深めていくこと、そして同時に医療従事者への糖尿病医療の質の向上に努めていきたくと思っています。

認定看護師紹介

がん化学療法看護認定看護師

城座 圭子
2009年6月取得



院内活動

外来化学療法室で安全・確実・安楽な投与管理を実践しています。患者さんそれぞれが自宅で日常生活を送りながら治療が継続できる様に情報提供や有害事象の予防、対処、指導などを行なっています。また認定看護師として看護師を対象にがん化学療法看護の知識・技術の向上を図るための学習会や、日々の看護実践の中でがん化学療法看護に関する相談にも応じています。

院外活動

こまつ看護学校での講義や石川県看護協会などのがん化学療法看護に関する研修会の講師など教育的な支援を行っています。

今後の抱負

外来で化学療法を受ける患者さんが増加しており、この春に化学療法室が新たな場所に移り14床に増床し広くなります。これまで以上に薬剤師や医師と協力しながら、化学療法を受ける患者さんのお力になれるよう、活動をしていきたいと思っています。

うつ病看護認定看護師

北 由希
2009年4月精神科救急急性期看護認定
2012年4月うつ病看護認定看護師に分野移行



院内活動

精神疾患を抱える患者様とその御家族を支える看護を中心に実践していますが、一般病棟入院中の患者様の精神的コンサルテーションも行わせていただいています。また、院内看護教育の中で、自己・他者のメンタルヘルス、コミュニケーションスキルなどの講義も行わせていただいています。

院外活動

地域に向けてメンタルヘルスに関する出前講座や、他病院様でのメンタルヘルスに関する講義もさせて頂いています。県の自殺対策のイベントなどでも、メンタルヘルス相談も行わせていただいています。

今後の抱負

うつ病は厚生労働省の調査では1996年には43.3万人であった患者数が2008年には104.1万人となりました。このころから国を挙げて、うつ病対策と自殺対策を行った結果、2011年には95.8万人と減少しています。しかし、この先もうつ病を含めた精神疾患は現代社会では切っても切れない状態が続くと予想されます。誰もがかかりうる病気として、地域に理解していただき、未病段階で対処できるよう、心の健康維持に関する活動を今後も自分の役割として行わせていただきたいと考えています。なにか、メンタルヘルスに関するご相談があればいつでも、お声をかけてください。

小松市民病院 夜間保育所について



● 基本理念 ●

病院で夜間勤務する看護師さんなどの職場環境を改善し、お子さまの健やかな成長を育む保育をおこないます。

- ▶ 夜間勤務のため子育てが難しく離職しなければならない人を守ります。
- ▶ 仕事と子育ての両立を支援します。
- ▶ お子さまの「元気な身体」と「豊かな心」を育む保育を行います。

● 利用対象者 ●

小松市民病院および小松市医師会に加入する病院等に勤務する看護師さんなどのお子さまで、生後6カ月以上就学前までの乳幼児・児童を対象とします。
なお、兄弟姉妹がいる場合は、小学校低学年まで同時に保育することができます。

● 利用料金 ●

1時間につき100円のご負担をお願いします。
(病院等の事業主の方も利用者と同額のご負担をお願いします。)
なお、2人目のお子さんから半額となります。

● 食 事 ●

食事(夕食・翌日朝食)は、食中毒防止等のため原則として保育所でご用意します。
管理栄養士の指導のもとアレルギー食や離乳食のご用意もいたします。
食事費は、別に1食あたり400円をいただきます。(実費相当額)

● 開 所 日 ●

毎週 月曜日・水曜日・金曜日
(ただし、祝日・年末年始の12月29日より1月3日までは除きます。)

● 開所時間 ●

午後4時15分より翌午前9時45分まで

● 設置場所 ●

小松市向本折町木60番地 小松市民病院内(本館2階)

● 定 員 ●

10名



授乳室



保育室



トイレ



踏込・ホール



申込み・問合せ先

〒923-8560 石川県小松市向本折町木60番地
国民健康保険 小松市民病院 総務課 庶務担当
TEL 0761-22-7111 (代表)
FAX 0761-21-7155
✉ cbsom@city.komatsu.lg.jp

■ ストーマ・ケア外来とは

当院のストーマ・ケア外来は、ストーマ(人工肛門)造設後の日常生活をより快適に過ごせるようお手伝いする目的で開設いたしました。
現在、当院で手術される患者様に対して、入院中および退院後も外来で継続して、ストーマのケアやトラブルなど相談を受けています。
外来での体制は、まだ充分とはいえませんが、研修を受けたスタッフが対応しています。

ストーマ・ケア 外来

■ ストーマ・ケア外来の受診方法

日 時：完全予約制
場 所：外科外来 または 看護外来
担当看護師：ストーマ管理の研修を受けた看護師
受診方法：完全予約制のため、事前に電話予約が必要です。(午後からになります)
① 外科外来に電話でご予約ください。
② 総合案内で受付し、外科外来へお越し下さい。



当院には、正面玄関の身体障害者用トイレにオストメイト(人工肛門)用の設備を備えています。ご利用ください。

注意事項

※受診の際は、装具の交換を行いますので、
普段使用しているストマ装具1セットを
持参してください。

費用：3割負担の場合 再診料込みで940円
(月2回目から420円)



連絡方法：国民健康保険 小松市民病院 外科外来
TEL(0761)22-7111 (内線3162)へお電話ください。

母乳相談 外来

＊ 助産師による乳房ケア相談室です ＊

時間：毎週木曜日 午後2時～4時
場所：婦人科外来 (助産師外来保健指導室)

＊ 乳房マッサージ指導料金 ＊

(授乳指導を含む)

自費 2,000円

◎医師の診察が必要な場合には、診察料金が加算されます。

＊ 持参するもの ＊

- ・母子手帳
- ・タオル
- ・授乳用品



● ご予約・お問い合わせは

小松市民病院 周産期センター
TEL 0761-22-7111 内線 2410

ボランティア活動

平成24年度ボランティア活動を下された方々に厚く御礼申し上げます。

いつも外来ホールに季節の移りを感じさせる生け花を生けてくださる「のぶき会」や、緩和ケア病棟で喫茶サービスを提供して下さる「おひさま」の皆さん、癒しのひと時を、提供して下さる絵手紙(鈴の会)、コーラスクラブ、ハープ演奏・ギター演奏、タヒチアンダンスの方々ありがとうございます。

また外来ホールに展示された、みどり分校の生徒さんの折り紙は、怪獣や昆虫が折られていて、通るお子さんたちがとも興味深く見ていました。



のぶき会



小松みどり分校生徒



緩和ケアボランティア



編・集・後・記

桜が満開になる花見シーズンに発行予定でしたが遅れてしまいました。

今回、病院内の患者さんの利便性や相談体制を考えて新しくなったところを紹介させていただきました。次回は新任の医師について紹介予定です。よろしくお願いたします。

 国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60
 TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
 URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
 E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp